

ゆり組

— 2学期の目標 —

- ◎ 進んで友だちに声をかけ、一緒に遊ぶ事で友だちの事をもっと知ろうとする
- ◎ 友だちとの簡単なルールや約束を守って、自ら遊びに取り組む

— 活動内容 —

綿花を収穫したよ

(協同性 社会生活との関わり 思考力の芽生え
豊かな感性と表現 言葉による伝え合い
数量や図形標識や文字などへの関心・感覚)



- 6月4日に綿花を植え当番活動に、水やりを行った。『花が出来たね！』と子どもたちと観察した。花が閉じて、綿が出来た。
- 9月19日綿を収穫した。
収穫時、『わー！ふわふわ』『本当に取ってもいいの？』と子どもたち同士で顔を見合わせながら楽しむ姿が見られた。
- 10月29日種と綿を分ける作業をやりたい子は行った。触ってみると、『ふわふわしてるね』『気持ちいね』と話しながら楽しんで行っていた。種と綿を分けるのが難しかったが、一生懸命頑張っていた。
- 12月の製作として、サンタさん・ツリーの飾りを綿花の綿を使用し作った。
はさみで線の上を切り、クレヨンでお絵描きをする。『サンタさんには白いひげがあるね！』と子ども達の意見が出て、『綿花の綿を使おう！』と子どもたちと話しになり交代で、ボンドで付けてひげを付けた。
- 自然の物を使った製作を行う事ができ、子どもたちもすごく喜んでいた。



おにごっこ

(健康な心と体 協同性 思考力の芽生え
数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
自然との関わり・生命尊重 言葉による伝え合い)



- 一学期から走るのが大好きな子どもたち。
二学期になり、鬼ごっこをよくするようになった。足を出して『鬼決め鬼決め鬼じゃないよ』と言い、鬼決めを行っていた。
- 鬼になった人は、『いやだな』という姿もなく、張り切って追いかける姿があった。
- 一学期から走るのが大好きな子どもたち。
二学期になり、鬼ごっこをよくするようになった。足を出して『鬼決め鬼決め鬼じゃないよ』と言い、鬼決めを行っていた。
時には、じゃんけんで鬼を決めている時もあった。
- 鬼ごっこをしている際、トラブルが発生しそう保育者に話をする子どもたちの姿があった。
『友だちに自分の意見を言えるようになるといいね』と話すと、子どもたち同士で伝え合えるようになってきた。
その反面、『嫌だったよ』と相手に伝えるが、『聞いてくれなかった』と話す姿があった。
- 全体で話しを行い、鬼ごっこでの約束事を話し、楽しんで鬼ごっこできるように促した。
そうすると、子どもたちの力で行うことができ、笑顔いっぱいで走る子ども達だった。



— 2学期の反省 —

- 一学期に沢山はさみの活動をしていた事で、二学期は約束事をふと思い出し、細かい物まで切ることが出来ていた。
慣れてきた事で、はさみを使用した後、キャップを閉じず『できた！』としているので、その都度声を掛けている。
中には意識して、キャップをすぐにできる子どもたちもいるので、使用前に約束事を確認する。
- 友だちの事が大好きで、何も考えずに思った言葉を口に出す子どもたちの姿があった。友だちの気持ちまで考え、話をしていくといいと思ったので、引き続き子どもたちに声を掛けていくと共に全体で考える時間を設けようと思う。

— 3学期の目標 —

- ◎ 様々な物を使って、製作遊びを楽しむ
- ◎ 言われたら嫌な言葉、言われてうれしい言葉を理解し、相手に伝えていく